

事務事業名	就労者定住促進奨学金返還支援事業				担当	教育委員会 学校教育課 総務係			
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)				
施策名	5	雇用の安定と創業支援の推進							
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 平成28 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (                      年度～                      年度)			
法令根拠	真岡市就労者定住促進奨学金返還支援事業補助金交付要綱								
予算科目	1.一般会計	10.教育費	1教育総務費	2事務局費					
予算科目									
事業概要	<p>人口増加及び定住促進施策の一環として、無利子の奨学金を受けて大学、短期大学、高等専門学校及び大学院に進学した者が、卒業後に真岡市内に居住し、就労した場合、返還された奨学金の一部を補助することで、真岡市への定住を促進させる。</p> <p>【補助金額】 前年度中に返還した奨学金(補助対象金額)に相当する額 ただし、一人に対する補助金の総額は最大200万円を限度とする。 ・令和元年度末、市内就労要件を外し対象者を拡充するため、要綱を改正をした。 ・令和3年4月から、対象者を拡充するため、4年生以上の大学生に加え、短期大学生、高等専門学校生、大学院生を追加した。これに伴い、貸与期間は2年以上とし、返還期間を5年以上に改正した。</p>								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)		④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移							
3年度実績 市ホームページ、ウィークリーニュースもおか、広報もおかへの掲載、郡内各高等学校、その他県内・近県各高等学校や真岡工業団地総合管理協会へ案内を配布し、制度の周知及び募集を行った。		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
4年度計画 前年度と同様		ア 交付者	人	4	7	18	34	35	
		イ 交付金額	千円	688	1353	3066	5339	6860	
		ウ 周知回数	回	3	3	6	6	6	
		エ							
		オ							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 公的な奨学金を借りている人(市奨学金を借りている人)		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移							
		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
		ア 市奨学金を借りている人	人	26	16	16	7	6	
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 奨学金を貸与した学生に対し、真岡市内に定住する機運を高めることができる。		⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移							
		名称	単位	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(見込)	
		ア 制度を利用し定住した人	人	4	7	18	34	35	
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
(2) 総事業費の推移			単位	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	688	1,353	3,908	5,339	6,860	
	事業費計 (A)		千円	688	1,353	3,908	5,339	6,860	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 人口減少傾向にあつて卒業学生の定住を促進させる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 卒業学生への定住促進に要する投資として妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 公的な奨学金を借りた人の定住促進が図られる。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 周知により利用者を増やし定住促進を進める。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統廃合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携ができる(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携できない(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 削減することは定住促進の事業効果を低下させる。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 更なる周知に努めること。																								